

栗原市病院事業経営健全化計画

平成 30 年度

— 重点取組事項等に対する点検・評価報告書 —

栗原市立病院経営評価委員会

【 所管：栗原市病院事業 医療局医療管理課 】

目 次

平成30年度重点取組事項等に対する点検・評価報告書

| | | |
|----------------------------|-------|-------|
| 1 栗原中央病院の取組みに対する意見等 | ----- | 1～2 |
| 2 若柳病院の取組みに対する意見等 | ----- | 2 |
| 3 栗駒病院の取組みに対する意見等 | ----- | 2 |
| 4 総括 | ----- | 3 |
| | | |
| 資料1 各委員からの意見、要望、提言 | ----- | 4～6 |
| | | |
| 資料2 平成30年度重点取組事項に係る自己点検・評価 | | |
| ■ 栗原中央病院 | ----- | 7～8 |
| ■ 若柳病院 | ----- | 9～10 |
| ■ 栗駒病院 | ----- | 11～12 |
| 《自己点検・評価の記載項目》 | | |
| 1 病院の果たすべき役割（経営方針） | | |
| 2 取組実績に対する点検 | | |
| (1) 医療機能確保の視点 | | |
| (2) 財務の視点 | | |
| (3) 業務プロセスの視点 | | |
| (4) 学習と成長の視点 | | |
| 3 収支計画及び決算（収益的収支） | | |
| 4 主な経営指標及び実績 | | |
| 5 自己評価（病院総括） | | |
| 〔添付資料〕 | | |
| 別紙1 市立3病院収支計画及び決算 | ----- | 13～15 |
| 別紙2 市立3病院経営指標 | ----- | 16～18 |
| | | |
| 資料3 栗原市立病院経営評価委員会委員名簿 | ----- | 19 |
| | | |
| 資料4 栗原市立病院経営評価委員会設置要綱 | ----- | 20 |

栗原市病院事業 第三次経営健全化計画
平成30年度重点取組事項等に対する点検・評価報告書

栗原市病院事業から提出された「平成30年度重点取組事項等に係る自己点検・評価」及び「決算関係資料」をもとに、第三次経営健全化計画における市立3病院の取組実績について点検を行った結果は、次のとおりである。

令和元年10月29日

栗原市立病院経営評価委員会

委員長 平川 秀紀

1 栗原中央病院の取り組みに対する意見等

循環器内科が本格的に稼働して2年が経過し、平均在院日数が短縮している中で、一日平均入院患者数は前年度と比較して7.3人増加している。

また、救急医療に関しては、平成30年度の救急車の受け入れ台数は2,158台で、市管轄の救急搬送患者の約6割が搬送されており、救急患者数も右肩上がり増加している。このことは、断らない救急を実践し、地域の救急医療に貢献していることであり、地域の方々の信頼を得ながら、徐々に収益増加にも繋がってくると期待できる。

平成30年度は循環器内科医師1人と整形外科医師1人をそれぞれ招へいすることができたが、外科医師1人の減少は、手術件数の減少となり、それがそのまま診療収入に影響していると考えられる。年度末の常勤医師数は26人で同規模病院の常勤医師数が44人であることを考えると、少ない人数で、本当によく頑張っているという印象である。

地域医療機関との連携では、平成26年7月から在宅療養後方支援病院として、登録患者数は131人、在宅患者緊急入院診療加算算定患者数は53人で、患者数は年々増加傾向となっており、在宅診療を行っている開業医の先生方も大変心強く感じていると思われる。

服薬指導業務件数、臨床検査件数、栄養指導件数などが増加しており、薬剤師や臨床検査技師、管理栄養士などの医療従事者の活躍は評価できる。

今後の経営見通しを予測するには、医療圏内の患者数がある程度限られているため、新入院患者数を予想し、病床稼働率の上限を見極めることが重要になってくる。

収入増加・確保対策では、各種指導管理料において約1千8百万円の増収となっており、経費削減・抑制対策では、ベンチマーク等を利用しての委託料、診療材料、医薬品等の経費削減を行ってはいるが、特に委託料は、他の病院からみても少し高めと思われるので、委託料を重点的に見直しする必要がある。

2 若柳病院の取り組みに対する意見等

医師体制は、平成29年度末に常勤医師2人（内科・整形外科）が退職したことから、常勤医師が3人体制となり、非常に厳しい状態であることは、経常収支比率が昨年度と比較し7.2%減少したことにも表れている。

市病院事業でも医師招へい活動に努力はされているが、全国的に地方病院の医師確保は非常に厳しいことから、手術などへの人的な配置や設備の維持整備を必要とするものは栗原中央病院へ集約し、スリム化を図ることも検討すべきである。

また、今後の地域の人口減を考えると、病床機能と病床数を検討する時期にきている。

前年度から引き続き、公立病院の責務として重度心身障害児者の医療型短期入所に取り組むなど、積極的な姿勢は伺えるが、今後も医師の負担軽減を図ることを検討しながら、地域包括ケア病床の導入などへ向けての環境整備を進めるとともに、在宅医療・介護支援機能のさらなる充実を目指してもらいたい。

3 栗駒病院の取り組みに対する意見等

常勤医師は3人体制を維持しているが、医師の高齢化は顕著で、地域の開業医の先生方にも当直の協力をいただきながら、なんとか運営しているという印象である。

医療スタッフ全体の高齢化もあり、職員給与費比率は高い水準のまま推移しており、純損失額は前年度と比較し3千259万円減少したものの、1億7百万円となり、75床規模ではかなり大きな損失額となっている。

地域で唯一の入院施設を持つ医療機関として存続するためには、地域の人口減少が進んでいることから、栗原中央病院との機能分担を明確化し、地域のニーズも取り入れた病院機能を考慮し、早期に抜本的な経営改革を図らなければならないと考える。

4 総括

第三次経営健全化計画の3年目を迎え計画の折り返しの年度となった。

病院事業として様々な増収、経費削減に取り組んでいるが、特に費用の面では、人事院勧告も5年連続でプラス改定になっており、非常勤、臨時職員が、来年度から会計年度任用職員に制度改正されることから人件費の増加は避けられない。また、10月からは消費税も2%アップしていることから、病院経営は非常に厳しい状況になっている。

市立病院が崩壊すると、地域の崩壊に繋がることになりかねないので、どのようにすれば継続できるかということを探ることが必要となる。

9月26日に厚生労働省が、再検証要請医療機関名を公表したが、県内では40か所の公立・公的病院のうち約半数の19か所が該当したことは、衝撃的な出来事であった。今回の厚生労働省の公表は、「診療実績が特に少ない」や「類似の実績がある医療機関が近接している」の該当項目が多い公立・公的病院を機械的に抽出し発表したもので、強制力はないものの、今後地域での議論を経ながら、地域医療構想の実現に向けて病院の機能分化が進む可能性がある。

大崎・栗原医療圏では対象病院が10か所中8か所となっており、栗原市立病院では、若柳病院と栗駒病院が該当し、地域では「病院がなくなるのでは」という不安にかられている人も少なくないのではないかと思う。

このような状況の中、市病院事業は市立病院の存続を前提として、外部コンサルタントへの業務委託により経営健全化を推進することとしており、さらなる機能分担や全体最適な病床数を議論する前提となっていたことから、今回の公表で慌てることなく、現在の経営状況を市民に周知しながら計画を実行してほしい。

一般会計からの長期借入金などで、なんとか現金をやりくりしながら運営している状況が伺えるが、外部コンサルタントによる分析も活用し経営改善策を策定実施することで、これまでよりもスリムで効率的な運営が可能となるように期待したい。

各委員からの意見、要望、提言

【栗原中央病院】

- 栗原中央病院は、入院患者数が136人、対29年度に比べて地域の患者さんが増えたが、循環器内科の開設が2年前なので、対28年度と29年度を比べたときの患者増に比べると136人というのは、かなり鈍っていると思われる。
- 栗原中央病院は、在宅療養後方支援病院として登録病院の支援を行っているが、在宅療養患者が増えている中で今後どのようにしていくか検討を要する。
- 栗原中央病院は、整形外科や循環器内科があることから、回復期リハビリ病棟があった方が地域のためになると考える。
- 栗原中央病院は、市内で発生した救急患者の搬送件数が増加し、市外医療機関への搬送件数が減少するなど、地域の救急医療に貢献している。外科医師1名の減少は、手術件数の減少に影響している。服薬指導業務件数、臨床検査件数、栄養指導件数などが増加しており、薬剤師や臨床検査技師、管理栄養士などの医療従事者の活躍は評価できる。
- キャッシュフロー計算書は有効な経営管理資料なので今後とも継続的な作成をお願いしたい。当期の業務活動キャッシュフローは1億5千373万円だが、マイナスが2年以上継続すると継続企業の前提に疑義が有りということになるので要注意である。
- 利息や減価償却費を引く前の、いわゆるキャッシュベースの実質的な収益がどれくらいあるかを知るEBITDA（イービットディーエー）という重要な指標がある。栗原中央病院の場合は、29年度が2億7千7百万、28年度は2億4千8万円プラスになっているというのは、救いがある。

【若柳病院】

- 若柳病院は、手術に関して、年間件数が少なく、手術室の人員や設備に係る経費などを考えると採算が悪いため、栗原中央病院に集約してスリム化することも考えられる。

- 若柳病院は、常勤医師2名の退職が収入の減少に影響している。医師の招へいが困難であることから、医師事務作業補助者の配置などによりタスク・シェアリングが図られ、医師本来のサービス提供量が向上することを期待したい。
- 自己評価（病院総括）については妥当と考えるが、業務活動キャッシュフローがマイナス3千284万円であることは要注意である。

【栗駒病院】

- 栗駒病院は、常勤医師が3人となり当直が負担となってくる。大学などに当直医を派遣依頼すると人件費が大きくなるため、医師の負担軽減と経費節減の面で、当直が不要な介護医療院などの検討は必要となってくる。
- 自己評価（病院総括）については妥当と考えるが、業務活動キャッシュフローがマイナス3千726万円であることは要注意である。

【全体】

- 新入院患者数は、戦略的に重要な資料となるので、急性期、地域包括ケア、療養型に分けたものが必要となる。
- 3病院4診療所を含めた経営を考え、適正な配置を行っていく必要がある。
- 開業医の年齢も平均で63歳から64歳になってきており、あと5年位で皆70歳になる。そうするとかなり開業医自体も厳しくなってくる。
- 栗原病院事業では継続してバランススコアカード方式により自己点検を行っており視点の確立という点で評価できる。KPI（主要経営指標）の選択も妥当であり、後は実績値を上げるのみであると思料する。
- 財務力向上のためのツールとしては「経営マトリクス表」の作成も有用であるが、あれもこれもというわけにはいかない。当年度は上記のコストダウンのためのアクションプラ

ンと、その確実な遂行により結果を出すということで十分ではないかと考える。

- 10月1日以降の消費税率のアップに伴い25%程「控除対象外消費税額」が増加するが、勘定科目を別に設定してP/L（損益計算書）にも記載した方が明瞭性の観点からも望ましいと考える。
- 病院運営の実態を、市民に分かるように周知することは是非やってもらいたい。
- 医療圏にどのような患者さんがいて、それに対してどのような病床がどれくらいあれば最適なのかという視点に立った取組が重要となる。
- これから益々在院日数が短くなると予想され、業務量が増えていくことから、医療スタッフの業務軽減としてクリニカルパスを推進し、記録の省力化というところに繋げていく必要がある。
- 経営健全化を積極的に取り組まれている場合には、病院の状況を含めて財政当局と密にやり取りしていかなければならない。
- 診療科別に損益を出してみることも必要ではないか。

平成30年度重点取組事項に係る自己点検・評価

| | |
|-----|--------|
| 病院名 | 栗原中央病院 |
|-----|--------|

1 病院の果たすべき役割（経営方針）

地域の中核病院として、高度医療や二次救急医療の役割を担い、急性期医療を中心に小児から成人・高齢者に至るまで、幅広い年代層への医療の提供、また、栗原地域の災害時における災害拠点病院としての機能、さらに、基幹型臨床研修指定病院としての役割を担っています。

また、市民が必要な時に“安全”で“安心”できる医療を提供できるように努めるとともに、市内一次医療機関や近隣医療機関との病病連携・病診連携を図り、市民に質の高い適切な医療を安定的に提供します。

2 取組実績に対する点検

(1) 医療機能確保の視点

| 目 標 | 取組実績 | 今後の課題・取組等 |
|-----------------|--|--|
| 地域医療機関との連携強化 | <ul style="list-style-type: none"> 在宅療養後方支援病院(H26.7～) H30年度未登録患者数 131人 H30在宅患者緊急入院診療加算算定患者数 53人 地域連携のつどい「よらいん」4回 351人 出前講座1回 30人 その他の研修会・講演会 2回 290人 | <ul style="list-style-type: none"> 医療機関の当院に対するニーズの把握及び地域への情報発信(広報誌及び出前講座等の充実) |
| 医療スタッフの招へい | <ul style="list-style-type: none"> 循環器内科医師1人と整形外科医師1人を招へいしたが、外科医師1名減となり H30年度の常勤医師数は26人で前年度比1人増となった。(研修医は1人減の3人) | <ul style="list-style-type: none"> 継続的な医師の招へい活動 初期臨床研修医の募集定員増(3人→5人) |
| 急性期医療及び回復期医療の提供 | <ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケア病棟の開設(H27.9～) H30年度救急車受入 2,158台 地域包括ケア病棟病床利用率 73.1% レスパイト入院 5人 | <ul style="list-style-type: none"> 医療機器の整備・充実 救急医療体制の充実 |

(2) 財務の視点

| 目 標 | 取組実績 | 今後の課題・取組等 |
|--------------------------|---|--|
| 収入増加・確保対策 (金額は対前年度比較) | <ul style="list-style-type: none"> 各種指導管料増収 H28: 28,449千円 H29: 9,893千円 H30: 18,834千円 紹介患者増加のための市内外医療機関への訪問(特に循環器) | <ul style="list-style-type: none"> 紹介患者の受入やベッドコントロール会議の活用による利用率向上 指導料等算定状況チェックの強化 定期的な他医療機関訪問実施 |
| 経費削減・抑制対策 (金額は対前年度比較) | <ul style="list-style-type: none"> 委託料等削減 H28: △30,933千円 H29: △3,316千円 H30: △1,044千円 診療材料・医薬品削減 H28: △6,765千円 H29: △2,216千円 H30: △2,095千円 | <ul style="list-style-type: none"> H31年度以降も継続して経費削減に取り組む |

(3) 業務プロセスの視点

| 目 標 | 取組実績 | 今後の課題・取組等 |
|-----------------|---|---|
| 医療の標準化とチーム医療の推進 | <ul style="list-style-type: none"> クリニカルパスの推進(利用率 H29: 24.7% H30: 25.4%) NSTに歯科医を招へいし活動 糖尿病チームを立ち上げ活動 抗菌薬適正使用支援チーム活動開始(H30.4) | <ul style="list-style-type: none"> クリニカルパス利用率30%以上 |

| | | |
|------------|---|--|
| 医療の質と安全の向上 | <ul style="list-style-type: none"> 「医療の質の評価・公表等推進事業」(全国自治体病院協議会)への参加 医療安全管理委員会等院内各種委員会活動を実施 | <ul style="list-style-type: none"> フィードバックデータの分析、活用による医療の質の向上 計画的、体系的な人材育成 |
|------------|---|--|

(4) 学習と成長の視点

| 目 標 | 取組実績 | 今後の課題・取組等 |
|-----------|--|--|
| 職員のスキルアップ | <ul style="list-style-type: none"> 研修の充実、専門医等の資格取得やスキルアップの支援 H30年度の学会・研修等参加者延178人 旅費等支出額7,551千円 | <ul style="list-style-type: none"> 計画的、体系的な人材育成 |

3 収支計画及び決算 (収益的収支)

(単位:千円)

| 区分 | H28年度 | | H29年度 | | H30年度 | |
|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | 計画額 | 決算額 | 計画額 | 決算額 | 計画額 | 決算額 |
| 医業収益 | 3,892,148 | 3,763,770 | 4,252,945 | 4,178,778 | 4,265,550 | 4,431,033 |
| 医業外収益 | 831,757 | 828,436 | 865,528 | 874,173 | 818,110 | 726,346 |
| 特別利益 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合 計 | 4,723,905 | 4,592,206 | 5,118,473 | 5,052,951 | 5,083,660 | 5,157,379 |
| 医業費用 | 4,658,006 | 4,447,345 | 4,889,899 | 4,912,267 | 4,863,470 | 5,041,156 |
| 医業外費用 | 297,703 | 284,353 | 281,578 | 285,401 | 272,166 | 285,031 |
| 特別損失 | 10,463 | 10,463 | 1,100 | 7,998 | 1,100 | 7,269 |
| 合 計 | 4,966,172 | 4,742,161 | 5,172,577 | 5,205,666 | 5,136,736 | 5,333,456 |
| 当年度経常損益 | △231,804 | △139,492 | △53,004 | △144,717 | △51,976 | △168,808 |
| 当年度純損益 | △242,267 | △149,955 | △54,104 | △152,715 | △53,076 | △176,077 |

4 主な経営指標及び実績

(単位:%)

| 区分 | H27年度 | | H28年度 | | H29年度 | | H30年度 | | |
|---------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|------|
| | 計画値 | 実績 | 計画値 | 実績 | 計画値 | 実績 | 計画値 | 実績 | |
| 経常収支比率 | 102.2 | 92.6 | 95.3 | 97.1 | 99.0 | 97.2 | 99.0 | 96.8 | |
| 病床利用率 | 80.0 | 63.1 | 65.7 | 63.1 | 73.3 | 66.1 | 76.7 | 68.5 | |
| 内 訳 | 一般病床 | 80.0 | 64.2 | 67.2 | 66.3 | 74.0 | 68.3 | 76.4 | 68.8 |
| | 療養病床 | 80.0 | 57.4 | 58.0 | 47.1 | 70.0 | 55.1 | 78.0 | 66.9 |
| 職員給与費比率 | 50.1 | 56.5 | 56.2 | 56.1 | 54.9 | 54.1 | 54.7 | 52.8 | |
| 医業収支比率 | 94.5 | 83.2 | 83.6 | 84.6 | 87.0 | 85.1 | 87.7 | 87.9 | |

5 自己評価 (病院総括)

平成30年度は循環器内科開設2年目となり、病床利用率70%以上を目標として職員一丸となって努力し、新入院患者数は前年度比136人増の4,042人となったが、平均在院日数の短縮等により病床利用率は前年度比2.4%増の68.5%に留まった。循環器内科の開設と「断らない救急」の実践等により地域住民に対する医療貢献度は確実に増大していると考えられる。

収支面では、患者数及び診療単価の増に伴い、入院収益は134,010千円の増、外来収益は83,691千円の増となり、人件費や診療材料費などの支出も増額したものの、本来業務の指標となる医業収支は87.9%となり、前年度より2.8%改善した。

しかしながら、他会計補助金及び他会計負担金が前年度より減額になったことなどが影響し、当年度純損失は176,077千円となり、前年度比で23,362千円の損失の増となった。

平成30年度重点取組事項に係る自己点検・評価

| | |
|-----|------|
| 病院名 | 若柳病院 |
|-----|------|

1 病院の果たすべき役割（経営方針）

「生活医療圏」の中での医療の提供、そのための「地域密着型慢性期医療」の基幹病院として、また、在宅医療・訪問看護・介護支援の拠点として、中核病院・地域診療所等との連携を図りながら、初期診療における総合的な判断と診療を行い、救急については一次救急はもとより、可能な限りの二次救急を行い、地域住民に信頼される病院を目指します。

2 取組実績に対する点検

(1) 医療機能確保の視点

| 目 標 | 取組実績 | 今後の課題・取組等 |
|--------------|---|---|
| 地域医療機関との連携強化 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療連携室が入退院支援にかかわった実績は、30年度871人・延4,026件であった。 ・栗原中央病院への紹介患者数は172件で前年度より3件増加した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療連携室の専任職員は、非常勤の社会福祉士1人のみで、看護師は兼務のため、充実させる必要がある。(H31.4から専任看護師1人増員。) |
| 医療スタッフの招へい | <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度末に常勤医師2人(内科・整形外科)が退職したことにより、医師充足率は非常に厳しい状況となった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・常勤医師の高齢化が進行していることから、地域医療を担う若手・中堅医師の招へいによる、医師充足率の達成が課題である。(H31.4整形外科常勤医師1人採用) また、医師の負担軽減のために、電子カルテ及び医療クラークの導入に向けた取組みを進める。(H31.4から医療クラーク3人任用) |

(2) 財務の視点

| 目 標 | 取組実績 | 今後の課題・取組等 |
|-----------|--|--|
| 収入増加・確保対策 | <ul style="list-style-type: none"> ・データ提出加算による増収 H31.3～ 142千円 ・診療録管理体制加算による増収 H31.2～ 52千円 ・急性期一般入院料6→5による増収 H30.10～ 2,294千円 | <ul style="list-style-type: none"> ・入院基本料5から4への引き上げ及び医師事務作業補助体制加算の施設基準の届出に向けた準備。 |
| 経費削減・抑制対策 | <ul style="list-style-type: none"> ・高額先発医薬品を後発品に切替。(リツヤ) △1,350千円 | <ul style="list-style-type: none"> ・開院から14年目を迎え、長期的に使用している医療機器の更新や施設設備の計画修繕が必要となっている。 |

(3) 業務プロセスの視点

| 目 標 | 取組実績 | 今後の課題・取組等 |
|-------------------------|---|---|
| 地域医療研修受入施設として研修内容の充実を図る | <p>平成30年度の研修受入実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栗原中央病院研修医 2人 ・仙台医療センター研修医 5人 ・リハビリテーション科による研修学生 12人 ・中高生の看護師体験学習 15人 | <ul style="list-style-type: none"> ・訪問診療・訪問看護・訪問リハビリ、在宅患者訪問褥瘡管理等の研修内容の充実を図り、仙台医療センターや栗原中央病院等の研修医の受け入れを行い、また、専門学校の実習生、中高生の体験学習の受入も継続する。 |

(4) 学習と成長の視点

| 目 標 | 取組実績 | 今後の課題・取組等 |
|-----------------------|--|---|
| 専門性の向上(職員のレベルアップ)を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・医師学会研修会出席延べ 38 人 ・看護師研修会延べ 245 人 ・ファーストレベル研修 1 人 ・コメディカル研修会延べ 15 人 ・院内研修会出席延べ 878 人 | <ul style="list-style-type: none"> ・計画的に研修会に参加することにより、職員の専門性の向上とレベルアップを図る。 |

3 収支計画及び決算(収益的収支)

(単位:千円)

| 区分 | H28 年度 | | H29 年度 | | H30 年度 | |
|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | 計画額 | 決算額 | 計画額 | 決算額 | 計画額 | 決算額 |
| 医業収益 | 1,512,744 | 1,527,712 | 1,554,601 | 1,474,355 | 1,557,348 | 1,362,774 |
| 医業外収益 | 284,636 | 286,350 | 267,227 | 270,165 | 270,188 | 264,566 |
| 特別利益 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合 計 | 1,797,380 | 1,814,062 | 1,821,828 | 1,744,520 | 1,827,536 | 1,627,340 |
| 医業費用 | 1,695,687 | 1,645,023 | 1,721,139 | 1,677,100 | 1,718,512 | 1,689,933 |
| 医業外費用 | 111,821 | 105,540 | 108,177 | 103,319 | 109,218 | 102,447 |
| 特別損失 | 780 | 1,213 | 780 | 3,079 | 780 | 414 |
| 合 計 | 1,808,288 | 1,751,776 | 1,830,096 | 1,783,498 | 1,828,510 | 1,792,794 |
| 当年度経常損益 | △10,128 | 63,499 | △7,488 | △35,899 | △194 | △165,040 |
| 当年度純損益 | △10,908 | 62,286 | △8,268 | △38,978 | △974 | △165,454 |

4 主な経営指標及び実績

(単位:%)

| | H27 年度 | | H28 年度 | | H29 年度 | | H30 年度 | |
|---------|--------|------|--------|-------|--------|------|--------|------|
| | 計画値 | 実 績 | 計画値 | 実 績 | 計画値 | 実 績 | 計画値 | 実 績 |
| 経常収支比率 | 100.3 | 94.8 | 99.4 | 103.6 | 99.6 | 98.0 | 100.0 | 90.8 |
| 病床利用率 | 85.2 | 74.6 | 75.0 | 77.5 | 76.7 | 73.3 | 82.5 | 64.4 |
| 内 一般病床 | 83.3 | 74.9 | 71.1 | 74.6 | 73.3 | 70.5 | 82.2 | 61.5 |
| 訳 療養病床 | 90.7 | 73.5 | 86.7 | 86.1 | 86.7 | 81.7 | 83.3 | 73.3 |
| 職員給与費比率 | 52.0 | 57.3 | 55.8 | 54.6 | 55.7 | 58.3 | 55.1 | 61.1 |
| 医業収支比率 | 95.9 | 89.1 | 89.2 | 92.9 | 90.3 | 87.9 | 90.6 | 80.6 |

5 自己評価(病院総括)

平成 29 年度末に常勤医師 2 人(内科・整形外科)が退職したため、平成 30 年度は常勤医師 3 人体制となり、非常に厳しいスタートとなった。

入院延患者数は前年度比 3,895 人の減で病床利用率は計画より 18.1 ポイント下回る 64.4%となった。外来患者数でも前年度比 5,234 人の減となり、1 日平均患者数で見ると入院が△10.7 人(一般△8.2 人、療養△2.5 人)、外来は△16.0 人(内科△7.7 人、外科△1.9 人、整形△6.4 人)で外来患者数の減が入院患者数の減に連動して減少した。主な患者数減の要因は、常勤医師 2 人(内科・整形外科)の退職によるものである。

平成 30 年度は、地域の強い要望のある重症心身障害児者の医療型短期入所に取組んだとともに、業務改善・働き方改革委員会を定期的に行うことによる業務の見直しの中で、電子カルテの導入や医療クラークの配置、診療録管理体制の整備等について協議を進めた。引き続き医師の負担軽減を図りつつ地域包括ケア病床の導入へ向けての環境整備をすすめ、在宅医療・介護支援機能の充実を目指す。

平成30年度重点取組事項に係る自己点検・評価

| | |
|-----|------|
| 病院名 | 栗駒病院 |
|-----|------|

1 病院の果たすべき役割（経営方針）

地域に密着した「地域密着型慢性期医療」の基幹病院として、近隣の医療機関・保健福祉施設等との連携と機能分担を図り、良質な医療を提供し、地域住民の健康を守ることに全力を尽くし、信頼される病院を目指します。

また、「和顔愛語」「恕」の精神で多くの住民から愛される病院を目指します。

2 取組実績に対する点検

(1) 医療機能確保の視点

| 目 標 | 取組実績 | 今後の課題・取組等 |
|--------------|---|--|
| 地域医療機関との連携強化 | <ul style="list-style-type: none"> 地域の開業医（2人）から、月2回ずつ当直で協力をいただいている。 栗原中央病院への紹介件数は225件となり、前年より11件増加した。 | <ul style="list-style-type: none"> 栗原中央病院や地域の開業医との連携を強化していく。 |
| 介護施設との連携強化 | <ul style="list-style-type: none"> 介護型療養病床（28床）の年間延患者数は前年度比較で79人の増となり長期入院体制の維持が必要である。 | <ul style="list-style-type: none"> 地域の高齢化率が高いため、在院日数も長くなっているが、介護施設等と連携を図り、医療型療養病床への移行を検討する。 |
| 医療スタッフの招へい | <ul style="list-style-type: none"> 継続的に医師招へい活動を行っているが常勤医師数は3人で増減なし。 | <ul style="list-style-type: none"> 常勤医師の招へいが進まない場合は、現在の医師体制で対応可能な病床運営を検討する必要がある。 |

(2) 財務の視点

| 目 標 | 取組実績 | 今後の課題・取組等 |
|-----------|---|---|
| 収入増加・確保対策 | <ul style="list-style-type: none"> 医療安全対策加算2の算定による増収234千円 がん治療連携指導料による増収3千円 | <ul style="list-style-type: none"> 地域に必要とされる病床機能に変換し増収させる。 |
| 経費削減・抑制対策 | <ul style="list-style-type: none"> 節約意識による賃借料、印刷製本費、診療材料費等で4,646千円の節減 | <ul style="list-style-type: none"> 引き続き費用削減に取り組む。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 故障した蛍光灯のLED照明切替による電気料の節減（H28～） | <ul style="list-style-type: none"> 24時間点灯している部署を重点に故障した器具から随時LED照明に交換する。 |

(3) 業務プロセスの視点

| 目 標 | 取組実績 | 今後の課題・取組等 |
|---------------------|---|---|
| 医療安全の充実 | <ul style="list-style-type: none"> リスクマネジメント委員会 12回 リスクカンファレンス 30回 医療機器安全管理委員会 12回 院内研修 54回、延べ1,036人 院外研修 54回、延べ124人 | <ul style="list-style-type: none"> 各種研修会の伝達研修や院内研修の充実を図り、医療事故防止に努める。 |
| 地域医療研修及び中高生の体験学習受入れ | <ul style="list-style-type: none"> 仙台医療センター研修医 2人 栗駒中学校生の福祉体験学 10人 | <ul style="list-style-type: none"> 継続して研修の受入を実施する。 |

(4) 学習と成長の視点

| 目 標 | 取組実績 | 今後の課題・取組等 |
|-----------------------|--|--|
| 専門性の向上(職員のレベルアップ)を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・国保学会発表 1人 ・ファーストレベル研修 1人 ・看護研究指導者研修 1人 ・セカンドレベル研修 1人 | <ul style="list-style-type: none"> ・学会発表及び各種研修への参加を継続し、職員の専門性の向上とレベルアップを図る。 |

3 収支計画及び決算(収益的収支)

(単位:千円)

| 区分 | H28年度 | | H29年度 | | H30年度 | |
|---------|---------|----------|---------|----------|---------|----------|
| | 計画額 | 決算額 | 計画額 | 決算額 | 計画額 | 決算額 |
| 医業収益 | 655,324 | 595,098 | 679,663 | 581,960 | 722,875 | 606,198 |
| 医業外収益 | 211,931 | 213,165 | 212,662 | 213,482 | 239,149 | 218,461 |
| 特別利益 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合 計 | 867,255 | 808,263 | 892,325 | 795,442 | 962,024 | 824,659 |
| 医業費用 | 918,631 | 878,613 | 940,278 | 894,710 | 941,640 | 890,656 |
| 医業外費用 | 46,662 | 43,562 | 42,926 | 40,281 | 44,718 | 41,064 |
| 特別損失 | 850 | 344 | 850 | 124 | 850 | 15 |
| 合 計 | 966,143 | 922,519 | 984,054 | 935,115 | 987,208 | 931,735 |
| 当年度経常損益 | △98,038 | △113,912 | △90,879 | △139,549 | △24,334 | △107,061 |
| 当年度純損益 | △98,888 | △114,256 | △91,729 | △139,673 | △25,184 | △107,076 |

4 主な経営指標及び実績

(単位:%)

| | H27年度 | | H28年度 | | H29年度 | | H30年度 | | |
|---------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|------|
| | 計画値 | 実績 | 計画値 | 実績 | 計画値 | 実績 | 計画値 | 実績 | |
| 経常収支比率 | 104.9 | 93.2 | 89.8 | 87.6 | 90.8 | 85.1 | 97.5 | 88.5 | |
| 病床利用率 | 86.1 | 73.7 | 70.7 | 63.2 | 74.7 | 62.9 | 80.0 | 66.2 | |
| 内訳 | 一般病床 | 88.4 | 72.2 | 68.9 | 58.0 | 71.1 | 53.9 | 80.0 | 60.2 |
| | 療養病床 | 82.7 | 75.9 | 73.3 | 70.9 | 80.0 | 76.3 | 80.0 | 75.2 |
| 職員給与費比率 | 61.8 | 71.3 | 77.4 | 81.0 | 76.1 | 81.4 | 70.9 | 77.0 | |
| 医業収支比率 | 90.4 | 75.8 | 71.3 | 67.7 | 72.3 | 65.0 | 80.0 | 68.1 | |

5 自己評価(病院総括)

平成30年度の延患者数は前年度と比較すると入院では919人の増、外来で456人の減という結果になった。

医業収益は計画額と比較して116,677千円の減、当年度純損失は107,076千円となり、前年度比32,597千円の損失の減となった。入院収益は前年度と比較して30,345千円の増となったが外来収益は4,041千円の減となった。

地域の人口減少が進んでいるものの、地域で唯一の入院施設を持つ医療機関として、また、地域密着型慢性期医療の基幹病院として、地域のニーズに合った医療提供体制の構築を検討したい。

別紙1 市立3病院収支計画及び決算

1 栗原中央病院

(単位：千円)

| 区分 | 年度 | H28年度 | | H29年度 | | H30年度 | |
|--------------------|----|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| | | 計画額 | 決算額 | 計画額 | 決算額 | 計画額 | 決算額 |
| 1 医業収益 | | 3,892,148 | 3,763,770 | 4,252,945 | 4,178,778 | 4,265,550 | 4,431,033 |
| (1) 入院収益 | | 2,625,387 | 2,540,943 | 2,937,326 | 2,893,026 | 2,951,771 | 3,027,036 |
| (2) 外来収益 | | 954,990 | 917,284 | 999,833 | 962,503 | 1,002,008 | 1,046,194 |
| (3) その他医業収益 | | 147,575 | 141,347 | 142,636 | 150,099 | 147,575 | 170,573 |
| (4) 他会計負担金 | | 164,196 | 164,196 | 173,150 | 173,150 | 164,196 | 187,230 |
| 2 医業費用 | | 4,658,006 | 4,447,345 | 4,889,899 | 4,912,267 | 4,863,470 | 5,041,156 |
| (1) 給与費 | | 2,187,895 | 2,111,234 | 2,334,823 | 2,259,974 | 2,334,823 | 2,338,992 |
| (2) 材料費 | | 688,630 | 633,003 | 688,629 | 798,797 | 688,995 | 830,458 |
| (3) 経費 | | 1,354,417 | 1,277,949 | 1,383,238 | 1,378,997 | 1,373,215 | 1,425,634 |
| (4) 減価償却費 | | 398,603 | 398,600 | 444,272 | 430,060 | 443,413 | 423,000 |
| (5) 資産減耗費 | | 13,344 | 13,316 | 24,301 | 32,486 | 3,843 | 9,412 |
| (6) 研究研修費 | | 15,117 | 13,243 | 14,636 | 11,953 | 19,181 | 13,660 |
| 医業損失／医業利益 | | △765,858 | △683,575 | △636,954 | △733,489 | △597,920 | △610,123 |
| 3 医業外収益 | | 831,757 | 828,436 | 865,528 | 874,173 | 818,110 | 726,346 |
| (1) 受取利息配当金 | | 4,306 | 4,387 | 1 | 2,513 | 1 | 5,321 |
| (2) 他会計補助金 | | 408,577 | 408,577 | 407,828 | 407,828 | 417,881 | 281,174 |
| (3) 補助金 | | 26,282 | 26,195 | 23,275 | 25,369 | 26,464 | 24,842 |
| (4) 負担金交付金 | | 280,796 | 280,797 | 330,820 | 330,317 | 264,291 | 296,321 |
| (5) 長期前受金戻入 | | 79,252 | 79,252 | 78,408 | 78,409 | 76,929 | 85,499 |
| (6) その他医業外収益 | | 32,544 | 29,228 | 25,196 | 29,737 | 32,544 | 33,189 |
| (7) 雑収益 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 4 医業外費用 | | 297,703 | 284,353 | 281,578 | 285,401 | 272,166 | 285,031 |
| (1) 支払利息及び企業債取扱諸費 | | 141,493 | 141,382 | 134,162 | 132,964 | 126,728 | 123,577 |
| (2) 繰延勘定償却 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| (3) 長期前払消費税償却 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| (4) 雑支出 | | 156,210 | 142,971 | 147,416 | 152,437 | 145,438 | 161,454 |
| 経常利益／経常損失 | | △231,804 | △139,492 | △53,004 | △144,717 | △51,976 | △168,808 |
| 5 特別利益 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| (1) その他特別利益 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 6 特別損失 | | 10,463 | 10,463 | 1,100 | 7,998 | 1,100 | 7,269 |
| (1) 過年度損益修正損 | | 600 | 920 | 600 | 350 | 600 | 1,160 |
| (2) その他特別損失 | | 9,863 | 9,543 | 500 | 7,648 | 500 | 6,109 |
| (3) 臨時損失 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 当年度純利益／純損失 | | △242,267 | △149,955 | △54,104 | △152,715 | △53,076 | △176,077 |
| 前年度繰越利益剰余金／欠損金 | | △5,910,389 | △5,910,389 | △6,152,656 | △6,050,944 | △6,206,760 | △6,196,059 |
| その他未処分利益剰余金変動額 | | | | | | | |
| 当年度未処分利益剰余金／未処理欠損金 | | △6,152,656 | △6,060,344 | △6,206,760 | △6,203,659 | △6,259,836 | △6,372,136 |

※端数については、四捨五入のため合計が合わない箇所があります。

※地方公営企業決算状況調査より。

2 若柳病院

(単位：千円)

| 区分 | 年度 | H28年度 | | H29年度 | | H30年度 | |
|----|--------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | | 計画額 | 決算額 | 計画額 | 決算額 | 計画額 | 決算額 |
| 1 | 医業収益 | 1,512,744 | 1,527,712 | 1,554,601 | 1,474,355 | 1,557,348 | 1,362,774 |
| | (1) 入院収益 | 948,864 | 944,876 | 973,353 | 894,652 | 988,920 | 779,688 |
| | (2) 外来収益 | 458,795 | 463,803 | 467,699 | 454,894 | 462,534 | 463,394 |
| | (3) その他医業収益 | 39,461 | 53,409 | 40,163 | 51,423 | 40,270 | 49,340 |
| | (4) 他会計負担金 | 65,624 | 65,624 | 73,386 | 73,386 | 65,624 | 70,352 |
| 2 | 医業費用 | 1,695,687 | 1,645,023 | 1,721,139 | 1,677,100 | 1,718,512 | 1,689,933 |
| | (1) 給与費 | 843,605 | 833,478 | 865,209 | 859,577 | 858,434 | 832,722 |
| | (2) 材料費 | 214,139 | 195,133 | 225,038 | 185,816 | 218,259 | 197,468 |
| | (3) 経費 | 515,536 | 494,108 | 509,253 | 509,764 | 516,781 | 536,965 |
| | (4) 減価償却費 | 118,059 | 118,056 | 117,650 | 117,632 | 119,091 | 117,475 |
| | (5) 資産減耗費 | 1,612 | 1,782 | 1,441 | 1,587 | 1,612 | 2,803 |
| | (6) 研究研修費 | 2,736 | 2,466 | 2,548 | 2,724 | 4,335 | 2,500 |
| | 医業損失／医業利益 | △182,943 | △117,311 | △166,538 | △202,745 | △161,164 | △327,159 |
| 3 | 医業外収益 | 284,636 | 286,350 | 267,227 | 270,165 | 270,188 | 264,566 |
| | (1) 受取利息配当金 | 1,754 | 1,706 | 23 | 947 | 60 | 2,059 |
| | (2) 他会計補助金 | 132,267 | 132,267 | 113,829 | 113,829 | 107,699 | 106,064 |
| | (3) 補助金 | 1,228 | 1,361 | 1,228 | 1,340 | 1,228 | 1,310 |
| | (4) 負担金交付金 | 144,079 | 144,078 | 146,654 | 146,810 | 156,347 | 146,228 |
| | (5) 長期前受金戻入 | 3,211 | 3,323 | 2,883 | 2,884 | 2,757 | 3,282 |
| | (6) その他医業外収益 | 2,097 | 3,615 | 2,610 | 4,355 | 2,097 | 5,623 |
| | (7) 雑収益 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 4 | 医業外費用 | 111,821 | 105,540 | 108,177 | 103,319 | 109,218 | 102,447 |
| | (1) 支払利息及び企業債取扱諸費 | 56,961 | 56,741 | 54,167 | 54,091 | 51,579 | 50,954 |
| | (2) 繰延勘定償却 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | (3) 長期前払消費税償却 | 8,251 | 8,251 | 8,251 | 8,251 | 8,251 | 8,251 |
| | (4) 雑支出 | 46,609 | 40,548 | 45,759 | 40,977 | 49,388 | 43,242 |
| | 経常利益／経常損失 | △10,128 | 63,499 | △7,488 | △35,899 | △194 | △165,040 |
| 5 | 特別利益 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | (1) その他特別利益 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 6 | 特別損失 | 780 | 1,213 | 780 | 3,079 | 780 | 414 |
| | (1) 過年度損益修正損 | 680 | 1,213 | 680 | 3,077 | 680 | 414 |
| | (2) その他特別損失 | 100 | 0 | 100 | 2 | 100 | 0 |
| | (3) 臨時損失 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 当年度純利益／純損失 | △10,908 | 62,286 | △8,268 | △38,978 | △974 | △165,454 |
| | 前年度繰越利益剰余金／欠損金 | △436,685 | △436,685 | △447,593 | △374,399 | △455,861 | △413,377 |
| | その他未処分利益剰余金変動額 | | | | | | |
| | 当年度未処分利益剰余金／未処理欠損金 | △447,593 | △374,399 | △455,861 | △413,377 | △456,835 | △578,831 |

※端数については、四捨五入のため合計が合わない箇所があります。

※地方公営企業決算状況調査より。

3 栗駒病院

(単位：千円)

| 区分 | 年度 | H28年度 | | H29年度 | | H30年度 | |
|----|--------------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| | | 計画額 | 決算額 | 計画額 | 決算額 | 計画額 | 決算額 |
| 1 | 医業収益 | 655,324 | 595,098 | 679,663 | 581,960 | 722,875 | 606,198 |
| | (1) 入院収益 | 407,479 | 351,605 | 425,761 | 347,937 | 455,304 | 378,783 |
| | (2) 外来収益 | 163,832 | 160,245 | 167,933 | 151,116 | 183,558 | 147,073 |
| | (3) その他医業収益 | 21,474 | 20,709 | 23,051 | 19,989 | 21,474 | 18,334 |
| | (4) 他会計負担金 | 62,539 | 62,539 | 62,918 | 62,918 | 62,539 | 62,008 |
| 2 | 医業費用 | 918,631 | 878,613 | 940,278 | 894,710 | 941,640 | 890,656 |
| | (1) 給与費 | 507,279 | 482,243 | 516,977 | 473,749 | 512,370 | 466,538 |
| | (2) 材料費 | 61,610 | 57,023 | 73,209 | 59,000 | 80,955 | 59,775 |
| | (3) 経費 | 279,816 | 269,773 | 277,921 | 290,918 | 274,468 | 294,324 |
| | (4) 減価償却費 | 65,483 | 65,479 | 69,664 | 69,614 | 68,403 | 67,968 |
| | (5) 資産減耗費 | 2,601 | 2,894 | 782 | 646 | 2,601 | 924 |
| | (6) 研究研修費 | 1,842 | 1,201 | 1,725 | 783 | 2,843 | 1,127 |
| | 医業損失／医業利益 | △263,307 | △283,515 | △260,615 | △312,750 | △218,765 | △284,458 |
| 3 | 医業外収益 | 211,931 | 213,165 | 212,662 | 213,482 | 239,149 | 218,461 |
| | (1) 受取利息配当金 | 1,069 | 1,065 | 11 | 591 | 10 | 1,285 |
| | (2) 他会計補助金 | 51,728 | 51,728 | 44,698 | 44,698 | 49,300 | 53,800 |
| | (3) 補助金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | (4) 負担金交付金 | 153,614 | 153,614 | 163,182 | 163,279 | 184,195 | 158,782 |
| | (5) 長期前受金戻入 | 2,796 | 2,820 | 3,296 | 3,298 | 2,920 | 2,964 |
| | (6) その他医業外収益 | 2,724 | 3,938 | 1,475 | 1,616 | 2,724 | 1,630 |
| | (7) 雑収益 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 4 | 医業外費用 | 46,662 | 43,562 | 42,926 | 40,281 | 44,718 | 41,064 |
| | (1) 支払利息及び企業債取扱諸費 | 19,228 | 19,173 | 18,562 | 18,433 | 17,835 | 17,416 |
| | (2) 繰延勘定償却 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | (3) 長期前払消費税償却 | 3,999 | 3,999 | 3,999 | 3,999 | 3,999 | 3,999 |
| | (4) 雑支出 | 23,435 | 20,390 | 20,365 | 17,849 | 22,884 | 19,649 |
| | 経常利益／経常損失 | △98,038 | △113,912 | △90,879 | △139,549 | △24,334 | △107,061 |
| 5 | 特別利益 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | (1) その他特別利益 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 6 | 特別損失 | 850 | 344 | 850 | 124 | 850 | 15 |
| | (1) 過年度損益修正損 | 800 | 344 | 800 | 124 | 800 | 15 |
| | (2) その他特別損失 | 50 | 0 | 50 | 0 | 50 | 0 |
| | (3) 臨時損失 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 当年度純利益／純損失 | △98,888 | △114,256 | △91,729 | △139,673 | △25,184 | △107,076 |
| | 前年度繰越利益剰余金／欠損金 | △212,090 | △212,090 | △310,978 | △326,346 | △402,707 | △466,019 |
| | その他未処分利益剰余金変動額 | | | | | | |
| | 当年度未処分利益剰余金／未処理欠損金 | △310,978 | △326,346 | △402,707 | △466,019 | △427,891 | △573,095 |

※端数については、四捨五入のため合計が合わない箇所があります。

※地方公営企業決算状況調査より。

別紙2 市立3病院経営指標

1 栗原中央病院の経営指標及び実績

| 経営指標項目 | | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
|-------------------|------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| ①病院機能評価 | 計画 | | | | | | |
| | 実績 | | | | | | |
| ②1日平均入院患者数 | 計画 | 235.0人 | 240.0人 | 197.0人 | 220.0人 | 230.0人 | |
| | 実績 | 195.4人 | 189.3人 | 189.3人 | 198.2人 | 205.5人 | |
| ③1日平均外来患者数 | 計画 | 450.0人 | 450.0人 | 375.0人 | 391.0人 | 392.0人 | |
| | 実績 | 387.2人 | 371.4人 | 364.8人 | 383.3人 | 407.0人 | |
| ④紹介率 | 計画 | — | — | — | — | — | |
| | 実績 | 60.7% | 61.1% | 60.5% | 63.0% | 62.5% | |
| ⑤逆紹介率 | 計画 | — | — | — | — | — | |
| | 実績 | 52.3% | 43.6% | 44.3% | 41.0% | 35.9% | |
| ⑥医業収支比率 | 計画 | 93.4% | 94.5% | 83.6% | 87.0% | 87.7% | |
| | 実績 | 83.2% | 83.2% | 84.6% | 85.1% | 87.9% | |
| ⑦病床利用率 | 計画 | 78.3% | 80.0% | 65.7% | 73.3% | 76.7% | |
| | 実績 | 65.1% | 63.1% | 63.1% | 66.1% | 68.5% | |
| 内訳 | 一般病床 | 計画 | 78.1% | 80.0% | 67.2% | 74.0% | 76.4% |
| | | 実績 | 64.4% | 64.2% | 66.3% | 68.3% | 68.8% |
| | うち地域包括ケア病床 | 実績 | — | 55.8% | 60.5% | 66.3% | 73.1% |
| | 療養病床 | 計画 | 80.0% | 80.0% | 58.0% | 70.0% | 78.0% |
| 実績 | | 69.3% | 57.4% | 47.1% | 55.1% | 66.9% | |
| ⑧ 平均入院単価 | 計画 | 34,280円 | 34,280円 | 36,512円 | 36,579円 | 35,161円 | |
| | 実績 | 34,635円 | 35,943円 | 36,769円 | 39,981円 | 40,357円 | |
| 内訳 | 一般病床 | 計画 | 37,455円 | 37,455円 | 39,957円 | 40,368円 | 38,950円 |
| | | 実績 | 37,797円 | 39,445円 | 39,765円 | 44,152円 | 45,219円 |
| | うち地域包括ケア病床 | 実績 | — | 31,172円 | 30,917円 | 31,802円 | 30,628円 |
| | 療養病床 | 計画 | 15,632円 | 15,632円 | 16,554円 | 16,554円 | 16,605円 |
| 実績 | | 16,794円 | 16,354円 | 15,672円 | 14,110円 | 15,363円 | |
| ⑨平均外来単価 | 計画 | 8,280円 | 8,280円 | 10,480円 | 10,480円 | 10,476円 | |
| | 実績 | 10,291円 | 10,779円 | 10,346円 | 10,291円 | 10,534円 | |
| ⑩経常収支比率 | 計画 | 101.1% | 102.2% | 95.3% | 99.0% | 99.0% | |
| | 実績 | 92.3% | 92.6% | 97.1% | 97.2% | 96.8% | |
| ⑪平均在院日数 (一般病床) | 計画 | — | — | — | — | — | |
| | 実績 | 18.1日 | 17.2日 | 17.5日 | 14.9日 | 13.9日 | |

※平均在院日数（一般病床）は、地域包括ケア病床（50床）を除いて算出した数値

2 若柳病院の経営指標及び実績

| 経営指標項目 | | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
|-------------------|------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| ①病院機能評価 | 計画 | | | | | | |
| | 実績 | | | | | | |
| ②1日平均入院患者数 | 計画 | 102.2人 | 102.2人 | 90.0人 | 92.0人 | 99.0人 | |
| | 実績 | 85.5人 | 89.4人 | 93.0人 | 88.0人 | 77.3人 | |
| ③1日平均外来患者数 | 計画 | 218.2人 | 218.2人 | 197.0人 | 200.0人 | 205.0人 | |
| | 実績 | 200.7人 | 200.2人 | 196.4人 | 189.7人 | 173.8人 | |
| ④紹介率 | 計画 | — | — | — | — | — | |
| | 実績 | 44.3% | 43.6% | 42.7% | 46.6% | 43.7% | |
| ⑤逆紹介率 | 計画 | — | — | — | — | — | |
| | 実績 | 40.5% | 39.5% | 38.0% | 47.2% | 43.7% | |
| ⑥医業収支比率 | 計画 | 95.8% | 95.9% | 89.2% | 90.3% | 90.6% | |
| | 実績 | 84.9% | 89.1% | 92.9% | 87.9% | 80.6% | |
| ⑦病床利用率 | 計画 | 85.2% | 85.2% | 75.0% | 76.7% | 82.5% | |
| | 実績 | 71.3% | 74.6% | 77.5% | 73.3% | 64.4% | |
| 内訳 | 一般病床 | 計画 | 83.3% | 83.3% | 71.1% | 73.3% | 82.2% |
| | | 実績 | 67.1% | 74.9% | 74.6% | 70.5% | 61.5% |
| | うち地域包括ケア病床 | 実績 | — | — | — | — | — |
| | | 療養病床 | 計画 | 90.7% | 90.7% | 86.7% | 86.7% |
| | | 実績 | 83.9% | 73.5% | 86.1% | 81.7% | 73.3% |
| ⑧ 平均入院単価 | 計画 | 25,525円 | 25,525円 | 28,885円 | 28,986円 | 27,367円 | |
| | 実績 | 25,490円 | 26,708円 | 27,847円 | 27,861円 | 27,633円 | |
| 内訳 | 一般病床 | 計画 | 29,140円 | 29,140円 | 33,546円 | 33,546円 | 31,077円 |
| | | 実績 | 29,614円 | 30,268円 | 32,078円 | 32,397円 | 31,317円 |
| | うち地域包括ケア病床 | 実績 | — | — | — | — | — |
| | | 療養病床 | 計画 | 15,557円 | 15,557円 | 17,411円 | 17,411円 |
| | 実績 | | 15,597円 | 15,822円 | 16,844円 | 16,108円 | 18,363円 |
| ⑨平均外来単価 | 計画 | 8,573円 | 8,573円 | 9,584円 | 9,584円 | 9,247円 | |
| | 実績 | 8,786円 | 9,098円 | 9,717円 | 9,830円 | 10,927円 | |
| ⑩経常収支比率 | 計画 | 100.1% | 100.3% | 99.4% | 99.6% | 100.0% | |
| | 実績 | 90.8% | 94.8% | 103.6% | 98.0% | 90.8% | |
| ⑪平均在院日数 (一般病床) | 計画 | — | — | — | — | — | |
| | 実績 | 19.6日 | 19.2日 | 19.0日 | 19.4日 | 18.3日 | |

3 栗駒病院の経営指標及び実績

| 経営指標項目 | | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
|-------------------|------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| ①病院機能評価 | 計画 | | | | | | |
| | 実績 | | | | | | |
| ②1日平均入院患者数 | 計画 | 64.6人 | 64.6人 | 53.0人 | 56.0人 | 60.0人 | |
| | 実績 | 57.5人 | 55.3人 | 47.4人 | 47.2人 | 49.7人 | |
| ③1日平均外来患者数 | 計画 | 134.6人 | 134.6人 | 96.0人 | 98.0人 | 110.0人 | |
| | 実績 | 111.4人 | 102.6人 | 94.8人 | 87.2人 | 85.4人 | |
| ④紹介率 | 計画 | — | — | — | — | — | |
| | 実績 | 23.5% | 26.3% | 18.9% | 19.6% | 24.3% | |
| ⑤逆紹介率 | 計画 | — | — | — | — | — | |
| | 実績 | 15.7% | 32.3% | 15.6% | 15.9% | 32.2% | |
| ⑥医業収支比率 | 計画 | 89.6% | 90.4% | 71.3% | 72.3% | 76.8% | |
| | 実績 | 77.9% | 75.8% | 67.7% | 65.0% | 68.1% | |
| ⑦病床利用率 | 計画 | 86.1% | 86.1% | 70.7% | 74.7% | 80.0% | |
| | 実績 | 76.6% | 73.7% | 63.2% | 62.9% | 66.2% | |
| 内訳 | 一般病床 | 計画 | 88.4% | 88.4% | 68.9% | 71.1% | 80.0% |
| | | 実績 | 71.2% | 72.2% | 58.0% | 53.9% | 60.2% |
| | うち地域包括ケア病床 | 実績 | — | 74.6% | 34.8% | 51.8% | 50.3% |
| | | 療養病床 | 計画 | 82.7% | 82.7% | 73.3% | 80.0% |
| | | 実績 | 84.7% | 75.9% | 70.9% | 76.3% | 75.2% |
| ⑧ 平均入院単価 | 計画 | 21,179円 | 21,179円 | 21,064円 | 20,830円 | 20,790円 | |
| | 実績 | 20,750円 | 20,748円 | 20,329円 | 20,221円 | 20,897円 | |
| 内訳 | 一般病床 | 計画 | 24,955円 | 24,955円 | 25,913円 | 25,779円 | 25,057円 |
| | | 実績 | 25,381円 | 25,023円 | 25,415円 | 25,967円 | 23,963円 |
| | うち地域包括ケア病床 | 実績 | — | 22,934円 | 23,300円 | 24,152円 | 23,636円 |
| | | 療養病床 | 計画 | 15,119円 | 15,119円 | 14,231円 | 14,231円 |
| | 実績 | | 14,914円 | 14,651円 | 14,084円 | 14,126円 | 17,211円 |
| ⑨平均外来単価 | 計画 | 6,175円 | 6,175円 | 7,023円 | 7,023円 | 6,839円 | |
| | 実績 | 6,785円 | 6,702円 | 6,959円 | 7,100円 | 7,061円 | |
| ⑩経常収支比率 | 計画 | 103.9% | 104.9% | 89.8% | 90.8% | 97.5% | |
| | 実績 | 94.6% | 93.2% | 87.6% | 85.1% | 88.5% | |
| ⑪平均在院日数 (一般病床) | 計画 | — | — | — | — | — | |
| | 実績 | 19.0日 | 19.9日 | 20.1日 | 18.0日 | 19.2日 | |

※平均在院日数（一般病床）は、地域包括ケア病床（8床）を除いて算出した数値

栗原市立病院経営評価委員会委員名簿

任期：令和元年8月20日から令和4年3月31日

| No | 所 属 | 役職名 | 氏 名 | 備 考 |
|----|--|-------|---------|-----------------|
| 1 | 山形市病院事業 | 管 理 者 | 平 川 秀 紀 | ○委員長 (山形県) |
| 2 | みやぎ県南中核病院 | 病 院 長 | 内 藤 広 郎 | ○副委員長 (大河原町) |
| 3 | 一般社団法人 栗原市医師会 | 会 長 | 宮 城 島 堅 | (栗原市) |
| 4 | 石巻赤十字病院 | 事務部長 | 後 藤 孝 浩 | (石巻市) |
| 5 | 公益社団法人 宮城県看護協会 | 副 会 長 | 瀧 島 美 紀 | (仙台市) |
| 6 | 宮城県総務部市町村課 | 課 長 | 鈴 木 雄 貴 | (仙台市) |
| 7 | 矢川昌宏公認会計士事務所 | 代 表 | 矢 川 昌 宏 | (石巻市) |
| 8 | 太平洋工業株式会社 栗原工場・若柳工場 (栗原市行政改革懇話会委員) | 工 場 長 | 山 田 賢 | (栗原市) |

(敬称略)

栗原市立病院経営評価委員会設置要綱

(設置)

第1条 栗原市病院事業経営健全化計画（以下「計画」という。）に基づく取組状況、計画の見直し等に関する事項及び市立病院事業の経営全般について評価、検討等を実施し、市立病院事業の経営健全化等を図ることを目的として栗原市立病院経営評価委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会の所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 計画に基づく取組状況、計画の見直し等に関すること。
- (2) 市立病院の経営全般について評価、検討等を実施すること。
- (3) その他病院事業管理者が必要と認める事項

(組織)

第3条 委員会は、委員10人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、病院事業管理者が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) 医療関係者
- (3) その他病院事業管理者が必要と認める者

3 委員の任期は3年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 委員は、再任されることができる。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に、委員長及び副委員長を置き、委員の互選により選任する。

2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議は、委員長が招集し、委員長がその議長となる。

2 委員会の会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

3 委員会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(意見の聴取等)

第6条 委員会は、必要があると認めるときは、議事に係る関係者又は専門家に対し、出席を求めて意見若しくは説明を聴き、又は必要な書類の提出を求めることができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、医療局医療管理課において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

(施行期日)

1 この告示は、平成20年12月 1日から施行する。

平成24年 7月 1日 一部改正

(会議の招集の特例)

2 この告示の施行後、最初に開かれる会議は、第5条第1項の規定にかかわらず、病院事業管理者が招集する。

栗原市病院事業 医療局 医療管理課

〒987-2205

宮城県栗原市築館宮野中央三丁目1番地1

TEL 0228-21-5631 FAX 0228-21-5632

URL: <https://www.kuriharacity.jp/>

E-mail: medical@kuriharacity.jp